

もっと 知ろう

みんなの議会



議会だより

題字：琉大附属小5年 井上

やまと
和



Vol. **46**

写真
1月10日の成人式
中城村の新成人たち

※質問者が会議録から要約した原稿を編集しています。



大城 常良 議員

パスポート申請

議員 現在、沖縄県35市町村では役所でのパスポート申請が可能になつていますが、本村では申請手続きができないのはなぜか。役所で申請する場合、メリット、デメリットがあるか。あるいは申請手数料で差があるのか。

住民生活課長 旅券事務の権限委譲を受けていないのが原因で、村として村民がどちらでも申請ができるよう要望しています。メリットは戸籍などの必要書類が身近でとれてすぐ申請ができます。デメリットは交付までの期間が2倍近くかかり、代理申請が出来なくなります。手数料はどちらも同じです。**議員** 他の市町村では申請業務は行われている中で、本村で何をためらつて

いるのか、やる価値があるのか、やろうという気持ちがあるのか。

住民生活課長 住民からの強い要望があれば検討していく余地はあると思います。

議員 村民の利便性とか、住民サービスを考えれば当然やるべきで、できる体制を整えてぜひ進めていただきたい。

中部南地区火葬場斎場 計画

議員 9月定例会後、建設検討委員会が行われたか。又、村長は今年いっぱいメドをつけると言いました。結論は出たのかどうか。さらに地元、安里区に説明責任及び結果報告をすると言いましたが、結果が出たのであれば早急に行うべきではないか。

企画課長 検討委員会が10月29日に開催され、今後の方向性について議論されました。現在、財源の確保が厳しいことから、現計画をこれ以上進めることは不可能である。候補地についてもゼロベースで議論を行う必要があると意見をしており

ます。

議員 ゼロベースと言う事は、本村として安里区には造れない、造らない、そう理解していいですね。

村長 5市町村の組織の中で結論はつけられないといけないので、これ以上この問題は前に進む事はないです。

副村長 現計画は不可能という結論に達していて、現状では中城村は枠組みから抜けますと発言しており議論する筋道はもうないです。

議員 安里区民には、誠意、説明責任を果たして、対立している現状を緩和するためにも行政として区民の意見を十分吸収して改善に取組んでいき、再出発する場合には住民が理解出来る場所に、誰もが賛成できる場所から考えていただけよう強く要望します。行政とは、村民の意見を大事に、理解を得て、信頼できる政策を進めることにより、本村のさらなる発展につながるような良い政策を今後とも、進めていただきたい。

ます。

議員 ゼロベースと言う事は、本村として安里区には造れない、造らない、そう理解していいですね。

村長 5市町村の組織の中で結論はつけられないといけないので、これ以上この問題は前に進む事はないです。

副村長 現計画は不可能という結論に達していて、現状では中城村は枠組みから抜けますと発言しており議論する筋道はもうないです。

議員 安里区民には、誠意、説明責任を果たして、対立している現状を緩和するためにも行政として区民の意見を十分吸収して改善に取組んでいき、再出発する場合には住民が理解出来る場所に、誰もが賛成できる場所から考えていただけよう強く要望します。行政とは、村民の意見を大事に、理解を得て、信頼できる政策を進めることにより、本村のさらなる発展につながるような良い政策を今後とも、進めていただきたい。

ます。

議員 ゼロベースと言う事は、本村として安里区には造れない、造らない、そう理解していいですね。

村長 5市町村の組織の中で結論はつけられないといけないので、これ以上この問題は前に進む事はないです。

副村長 現計画は不可能という結論に達していて、現状では中城村は枠組みから抜けますと発言しており議論する筋道はもうないです。

議員 安里区民には、誠意、説明責任を果たして、対立している現状を緩和するためにも行政として区民の意見を十分吸収して改善に取組んでいき、再出発する場合には住民が理解出来る場所に、誰もが賛成できる場所から考えていただけよう強く要望します。行政とは、村民の意見を大事に、理解を得て、信頼できる政策を進めることにより、本村のさらなる発展につながるような良い政策を今後とも、進めていただきたい。

ます。

議員 ゼロベースと言う事は、本村として安里区には造れない、造らない、そう理解していいですね。

村長 5市町村の組織の中で結論はつけられないといけないので、これ以上この問題は前に進む事はないです。

副村長 現計画は不可能という結論に達していて、現状では中城村は枠組みから抜けますと発言しており議論する筋道はもうないです。

議員 安里区民には、誠意、説明責任を果たして、対立している現状を緩和するためにも行政として区民の意見を十分吸収して改善に取組んでいき、再出発する場合には住民が理解出来る場所に、誰もが賛成できる場所から考えていただけよう強く要望します。行政とは、村民の意見を大事に、理解を得て、信頼できる政策を進めることにより、本村のさらなる発展につながるような良い政策を今後とも、進めていただきたい。

ます。

議員 ゼロベースと言う事は、本村として安里区には造れない、造らない、そう理解していいですね。

村長 5市町村の組織の中で結論はつけられないといけないので、これ以上この問題は前に進む事はないです。

副村長 現計画は不可能という結論に達していて、現状では中城村は枠組みから抜けますと発言しており議論する筋道はもうないです。

議員 安里区民には、誠意、説明責任を果たして、対立している現状を緩和するためにも行政として区民の意見を十分吸収して改善に取組んでいき、再出発する場合には住民が理解出来る場所に、誰もが賛成できる場所から考えていただけよう強く要望します。行政とは、村民の意見を大事に、理解を得て、信頼できる政策を進めることにより、本村のさらなる発展につながるような良い政策を今後とも、進めていただきたい。



新垣 徳正 議員

介護支援総合事業

議員 改正介護保険法により、「介護予防・日常生活支援総合事業」の準備が進められていると思いますが、本事業は各自自治体、地域の特性に合った仕組みづくりが求められています。本村に於いて、どのような地域づくりを目指すのか。

福祉課長 平成28年4月からの総合事業移行に向けて進めています。現在の介護予防給付の枠組みである訪問介護、通所介護が市町村の地域支援事業へ移行しますが、現行のサービスを利用する要支援1・2の方々には、更新時までには現行の訪問介護、通所介護サービスの利用ができるよう配慮したいと思います。各種事

業を利用しやすい体制で拡充していきたいと思えます。

本村役場職員の本村適正人数は

議員 本村と類似の他町村と比較して職員数が少ないと感じています。平成26年1月現在職員数で、中城村・116人、北中城村・136人、嘉手納町・166人、本部町・127人で、その中で人口が一番多いのが本村の1万8,792人です。お隣の北中城村に於いても人口比で、本村より2,440人も少ないが、職員数では20人多い計算です。適正な数だと思えますか。

総務課長 平成16年には134人の職員がいましたが、村独自に11人を削減、123人と成り、平成17年から21年までの国の集中改革プラン施行に伴い、7%削減が実施され、現在の人数となった。**村長** 今年度から職員数名ずつではありますが、

増やしていくつもりでございます。はつきりとした数字は提示できませんが、ここ数年では徐々に増やしていきたいと言う事で意思は固まっております。

議員 今後も本村の人口増が見込まれます。それに応じた職員数を確保し行政サービスの充実に繋げて頂きたいと思えます。

平和宣言文について

議員 中城村全戦没者慰霊祭での「平和宣言」の意味するものは。

企画課長 戦没者追悼と共に世界平和実現に向け、村として全力で取り組む決意を新たにしたいものであり、慰霊祭向けのその場限りのものではございません。平和宣言を常に心の中に刻み、村政運営に当たるものと考えております。





新垣 光栄 議員

**ダイオキシンを含む
悪臭公害対策は**

議員 悪臭がひどい、西原の工業団地から派生する公害対策は。

住民生活課長 県及び西原町と連携して対応していきたい。

議員 悪臭防止法等が施行され県の役割が各市町村に下りてきた。村は指導勧告等をやったのか。

住民生活課長 改善報告書を頂いています。
議員 報告書で済ますことはできない。廃棄物の種類は認識しているのか。

住民生活課長 医療用の廃プラスチックが悪臭の原因です。

議員 2月の営業停止の原因は。

住民生活課長 排出される排ガスのダイオキシンの濃度が基準以上であつたのが原因です。

議員 そう、ダイオキシンです。村は、西原町や県にどのような抗議、要請をやつたのか。

住民生活課長 改善命令の報告を受け取つて、抗議はやつていません。

議員 私は、県に対して情報を求めたのですが、停止期限が切れているから情報が出せないと言われた。村は、地域住民に対して情報提供があつてもいいのではないか。

住民生活課長 情報開示ができるような体制を作つていきたい。

議員 業者からのデータでは信用できない。中城村、西原町、県と一緒になつてその現場に立ち入つて第三者での測定をして頂きたい。

住民生活課長 県、西原町と相談して対応をやつていきたい。

議員 村長、許可した県はこれでいいのか疑問があります。西原町と連携して、この問題を解決して頂きたい。

村長 精査して、取り組んでいきたいと思つています。

県道、国道の計画は

議員 村の総合計画の中に、村を横断・縦断する国道・県道の計画を具体的にに入れることができないか。

企画課長 国・県の事業に関しては、村の計画に記載するのは難しい。

議員 県道、国道の促進ではなく、国道329号の延伸、県道29号線の拡幅を具体的に表現できないか。5市町村の首長がサンライズ協議会の中で明言しているので、表現してもおかしくないと思うが。

企画課長 「国道329号から国道58号への横断道路の整備を促進します。」と表現しています。

議員 具体的に「沖繩国際大学から坦々亭に向けての県道の横断道路を整備する。」と表現できれば、住民もわかりやすい。



新垣 善功 議員

**中城村土地利用
検討委員会のあり方**

議員 現在、添石地内で建設中の墓地霊園について、土地検討委員会の議事録を読んで見ますと、多くの委員（課長）が疑問を呈している中で委員会の結論は、中城村第四次総合計画及び中城村国土利用計画において墓地理念の観点と周辺施設環境からも墓地公園開発は望ましくない地域であり、墓地区域外であるとの結論を出してあるにもかかわらず許許可したことは何故か村長の考えを求めます。

村長 地域のコンセンサスが得られているかが一番の大きな私の判断材料です。春華園の同意も得られ、地域の7割以上の同意も得られているので許可を可とした処であります。

議員 地域の同意を得られれば、どんな開発も許可すると言ふことなのか、なんのために、総合計画、国（村）土地利用計画、中城村墓地基本計画を策定したのか私は理解できません。村長、委員会の結論（提案）は尊重すべきものであり、今後は、その様なことがない様に強く指摘しておきます。

農業の再生

議員 中城の産業と言えれば農業と言つても過言ではないと思つていますが、高額の財政を投入して、農業の基盤整備（土地改良）はできたが、その後の活用がなく農業は衰退していつているのが現状で、衰退の原因と農業再生にどの様に取り組んで行く考えか伺います。

村長 農業の担い手不足と高齢化及び儲からないために農業はなれが進んでいないと考へています。
議員 私もその様に思ひます。では儲かる農業にするための施策を考へるべきでありその一番が農業人材育成のため施設を作つて農業の知識を学び取得後、自立していくというシステムを村策として推進していくことが重要と考へています。そのために村営の農業体験研修所（仮称）を建設してそこで二年間の研修を行う。その間は村が経済面での支援を行つて農業人材育成を推進することを提案します。

火葬場建設

議員 九月定例議会後の5市町村の検討委員会の協議の状況について伺います。

村長 検討委員会の中では財政のメドも立たないので、ここで一旦けりをつけて、ゼロベースに戻りましょうと提案しているところでもあります。

議員 早目に結論を出して地元住民を安心させることを強く要望します。

議員 私もその様に思ひます。



仲座 勇 議員

中城村シルバー人材センター

議員 中城村シルバー人材センターより村当局へ平成28年度の補助金要請400万円の申請があったと思われませんが、県の補助金もなくなり平成28年以降からは厳しい現状です。当局の所見を伺います。

村長 当然中城村のシルバー人材センターでございまして、今後も支援、そして協力は惜しまず頑張っていただし、そして我々もしっかりやっていきたいと思っております。

企業・観光課長 県の補助金の交付期間の三年間が終了いたしました。平成28年度の補助金要請額400万円（対前年116万2,000円）の増加の予算計上を受けているのが現在担当のほうで内容を確認しているとのことですが、**議員** 村当局の協力指導も必

要だと思えます。所見は。

企業・観光課長 公共施設の無料提供事務所、行政事務の支援、受注活動の助言や相談、活動チラシの制作、配布、公共施設の維持管理等の見積りあつせん。イベント等において雇用委託契約などを行っております。引き続き積極的に支援してまいります。

交通 安全
議員 糸蒲公園の50メートル西側の中城南上原中央線の十字路の横断歩道設置について伺う。

住民生活課長 安全確保が保たれることから設置の要請を宜野湾署のほうに行つていきたいと思えます。カーブで見通しが悪いということで交通事故の危険性が高いので望ましくないと宜野湾署のほうから回答を得ております。

議員 一号公園手前T字路の横断歩道設置は。
住民生活課長 交通量が多いことから歩行者の安全確保のため要請を行つていきたい。
議員 一号公園前の歩道整備等を伺います。
都市建設課長 一号児童公園とあわせて平成28年度予算で

予定しています。

中部南地区火葬場・斎場（仮称）建設

議員 9月定例会後建設検討委員会が開かれたと思われませんが、現状と報告を伺います。

企画課長 平成27年10月に第4回建設検討委員会が開催されており、火葬場のニーズが高いことから検討を継続したいとの意見、財源の確保が厳しいとの意見。結論として、現計画の検討を継続するのは難しいが、あらためて市町村会議を開催していくことになっている。

議員 安里区に結果報告説明が早急に必要だと思われませんが所見は。
企画課長 今後市町村長会議の結論が出た段階で地元への説明が必要だと考えています。

議員 当局は村民、特に安里区民の方々に心労と不安をかけたと思われ、白紙撤回して建設不可能だと断言していただいて、安里区民の方々に謝罪が必要だと思われ、



安里ヨシ子 議員

学校給食の安全性

議員 TPPを受け海外からの輸入食品が入ってきます。外国から日本までくるのにかなりの日数がかかり、それなりに添加物が使われます。環境汚染、食品汚染が予想されます。食べ物の危険から子供達を守るため、地域農業を大切に安心安全に提供できるように教育委員会はどうのような対策を考えていますか。

村長 食の安全という面で行政がしっかりカバーしないといけない。より安全指導を徹底しないといけない、地産地消率も高くなっています。食の安全にしっかりと努めていきたい。

教育長 輸入食材への不信感が高まるなか、給食に使用する食材は地産地

消を推進。村内産、県内産を主に使用、次に国内産で対応、できない場合外国産を使用しています。日本の食料自給率では輸入食材ぬきに給食を提供することはできません。

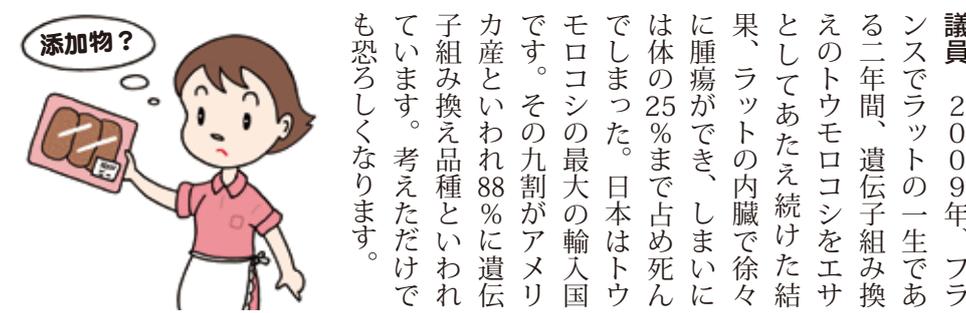
遺伝子組み換え食品
議員 輸入食品には遺伝子組み換え食品が標示も不十分なまま入ってくる。個人の力で守りきれない。添加物について十分認識を持ち父母の皆さんに伝えていく父母参加の給食運営委員会の設置が必要。

教育総務課長 遺伝子組み換え食材は使用していない、加工食品について表示されていないので、遺伝子組み換えの可能性もあり、父母の皆さんに小学校新入学のオリエンテーションで食材の使用状況を説明。食品の安全性についての資料関係はこれから提供していく。

議員 TPPの批准で日本農業は壊滅状態に陥るといわれていますが、

農林水産課長 協定後は多くの農産物等が関税撤廃され安い外国産の農産物の流通が増加、国産物の流通価格への影響がある。農家所得の減少、生産意欲の低下による農業離れが加速すると懸念されます。

議員 2009年、フランスでラットの一生である二年間、遺伝子組み換えのトウモロコシをエサとしてあたえ続けた結果、ラットの臓器で徐々に腫瘍ができ、しまいは体の25%まで占め死んでしまった。日本はトウモロコシの最大の輸入国です。その9割がアメリカ産といわれ88%に遺伝子組み換え品種といわれています。考えただけでも恐ろしくなります。





伊佐 則勝 議員

集落環境の整備

議員 給食センター裏側までの排水路整備について再確認します。現状は、個人敷地内を通っており、村の水路敷に設置することになってはいるが、現時点まで事業着手に至っておりません。現状を考慮し、予算確保と早急な整備を再度要望するが、今後の対応は。

都市建設課長 この排水問題は定例会で何回か答弁していますが、補助メニュー等がなく、単費施工になることから、事業費の確保に苦慮しています。確かに現状の排水は個人所有の敷地から利用している状況ですので、排水敷地へ切り直し工事の予算確保を新年度で頑張ります。

議員 財政当局においても現状を考慮し、本件での新年度予算要求については配

慮を願います。

土砂崩壊対策事業

議員 農水省の治山事業による奥間地内土砂崩壊防止対策の事業採択に向けた、予定地の宇津原と上川原の各々の地権者数は。

農林水産課長 相続人を含めて宇津原が14人、上川原は32名です。

議員 その後、地権者の方への事業内容の説明と、事業への協力依頼等合意形成作業の具体的な取り組み状況は。

農林水産課長 その後の地権者説明会の開催は実施していません。これまでに保

安林指定への同意は上川原の7筆2名です。南部林業事務所へは、上川原の土砂崩壊が顕著に見られる同意の得られた土地での対策ができないか調整したが、部分的対策では事業採択は厳しいとの回答があり、現在、相続人の所在等の調査中で、所在確認ができた地域説明会及び同意作業を進める考えです。

議員 予定地の喜納原については、すでに地権者であ

る奥間自治会の同意を得たものの、事業規模として1千万円の事業予算を満たさない規模では採択は困難とのことでしたが、南部林業事務所に再度のアタックはしたのか。

農林水産課長 その後も事業実施について協議をしているが、事業規模等の採択要件を満たさなければ採択は厳しいとの回答でした。

議員 国交省関連での中部土木事務所の地すべり対策事業の可能性については。

都市計画課長 中部土木事務所も、現地を確認踏査し

地層表面の滑落等は見受けられるが、地すべりとしての兆候がないことから、対策事業の採択は現状では厳しいと思われる。

議員 山道側からの斜面部分は、大雨のたびに真下の住宅地周辺まで影響が出ています。応急措置として、上部からの雨水対策として、資材提供はできないか。

都市計画課長 資材提供については、今後奥間自治会と相談しながらやっていきたいと思えます。



外間 博則 議員

農業振興

議員 本村において農業の担い手不足が問題視されているが、村ではどのような対策を考えるか。

農林水産課長 現在、国県においては、新規就農者へ向けた青年就農給付金等の補助事業で支援をしております。村においても、新規

就農者が定着するように補助事業等を活用しながら、農業指導員による作物の栽培技術指導や研修等を行い担い手の確保を図りたいと考えております。

議員 新規就農者は何人いるのか。また、就農実績はどうなっているか伺えます。

農林水産課長 新規就農者の補助事業導入者は、平成24年度から村内は8名おり他の市町村出身者を含めると12名となります。また、

就農5年未満の新規就農者は村内出身者で20名となっています。

議員 現在就農を行っている農業者の方が、施設野菜で、トマト栽培が主ではないかと思いますが、露地野菜に関しては7割以上がキャベツの栽培となっていると思います。村ではキャベツと並びレタス、島ニンジンが栽培されているが、特に島ニンジンは村でもブランドが持てる作物であります。村でも安定した農業政策を伺います。

農林水産課長 今、村のほうとして特に栽培を推奨する作物というのは特に決めていませんけれども、今、取り組んでおりますのは、当然島ニンジン、島ダイコンの栽培に力を入れていること、あとはJAを通しての出荷として、中部においてはキャベツとトマトが中城村でトップとなっており

ますので、やはりそういったものの品目を推奨していきたいと思っております。

農業振興地域整備計画 議員 この計画は、平成15

年度まで行われてきたが、平成27年度で12年経過しております。今後の計画で農業振興地域の見直し、除外を早めに行っていたいただきたいが、4次振興計画で行えないか。

農林水産課長 中城村の農業振興地域整備計画につきましては、先ほど議員からありましたように現在の計画が平成15年度で策定されており、今12年経過しております。それで今年度スケジュール的には、その専門のコンサルタントに委託発注をしまして、これからまた今年度内にはスケジュール通りに基礎調査を終えたいと考えています。その後、いわゆる農振見直しの土地利用の検討をして、素案を作成して県との協議に県知事との協議になり同意を得て策定ということになります。基礎調査の中では当然地権者、農用地所有者、地権者へのアンケート調査、または地域での説明会等も予定しております。

年度まで行われてきたが、平成27年度で12年経過しております。今後の計画で農業振興地域の見直し、除外を早めに行っていたいただきたいが、4次振興計画で行えないか。

農林水産課長 中城村の農業振興地域整備計画につきましては、先ほど議員からありましたように現在の計画が平成15年度で策定されており、今12年経過しております。それで今年度スケジュール的には、その専門のコンサルタントに委託発注をしまして、これからまた今年度内にはスケジュール通りに基礎調査を終えたいと考えています。その後、いわゆる農振見直しの土地利用の検討をして、素案を作成して県との協議に県知事との協議になり同意を得て策定ということになります。基礎調査の中では当然地権者、農用地所有者、地権者へのアンケート調査、または地域での説明会等も予定しております。



新垣 貞則 議員

吉の浦火力発電所に地元から雇用創出を図るには

議員 吉の浦火力発電所建設工事に伴う周辺地域協議会設立に関する覚書の内容は。

企業・観光課長 吉の浦火力発電所周辺地域の振興に資するため、地元企業の活用及び地元からの優先雇用に努める。

議員 吉の浦火力発電所へ地元（久場・泊地区）からたくさんの人を雇用することで、地域の活性化につながると思いますが、行政からの働きかけをお願いします。

役場職員が働きやすい職場環境を図る為には

議員 非正規職員の賃金の値上げと、育休制度を取り入れる考えは。

総務課長 職務内容及び近隣市町村の動向も重視

しながら適正な賃金設定になるようにし、育休制度も同様に検討します。
議員 職員の定数条例は138名、現在112名と26名少ない。職員の健康を守る意味からも職員定数条例どおり配置する考えは。

副村長 村民サービスの低下につながらないように、その部署、その部署について十分検討し、増員をして村民サービスの低下につながらないようにします。

魅力ある中城中学校を創るために

議員 中城中学校が魅力ある学校づくりを図る為に、あいさつ沖繩1位を目指す考えは。

教育長 生徒一人一人が良い学校をつくるんだという自覚して教育活動に励み、生徒同士が学びあうことによって、学習の理解が深まり信頼関係が生まれます。その手始めとしてあいさつ運動は大変有効だと考えています。

議員 中城村から初のオリンピック選手を育成するために中学生・高校生・大学生を指定してトップアスリート応援基金を設立する考えは。



中城村から世界へ

村長 中城村は非常にスポーツに関して期待できる地域だと思っております。何らかの機会です。いろいろなことが講じることができれば、非常にうれしいなと思っております。

議員 中城村の未来をすばらしくつくる子供たちに必要な費用をつけて未来への投資、社会投資と位置づけて政策を進めて下さい。夢は夢で終わるのではなく、生徒たちに夢をあたえるために中城村から初のオリンピック選手を育てていきましょ。



仲松 正敏 議員

生涯学習の基盤

議員 本村の生涯学習の取り組み状況は。

生涯学習課長 生涯学習課の人材育成の強化と、社会教育団体をその中で指導育成すること、生涯学習体制、学習ニーズの増大や多様化する学習機会の支援等に取り組んでおります。

議員 これからの生涯学習は個人の意見や個人的な環境に委ねるのではなく社会システムとして整備し、制度的に実施していく必要があると考えますが、教育委員会の推進体制はどうあるべきだと思いますか。
教育長 議員がおっしゃるとおりであります。情報化の発展、高齢者社会による自由時間の増大、あるいは所得水準の向上

など、人々の志向が物の豊かさから心を満たす方向へと変化してあります。このような社会情勢に的確に対応し、村民一人一人が心豊かで充実した人生を送るため、さらなる生涯学習の基盤体制の強化を推進してまいります。

文化行政の取り組みは

議員 文化協会の予算に對してお聞きます。北中城村336万1千円、中城村91万2千円、村補助金として北中城村258万4千円、中城村61万6千円、本村と北中城村の予算の差は。

生涯学習課長 両村の補助金の比較ですが、議員のおっしゃる通りに北中城村250万円、本村61万円、しかし中城村においては、文化協会だけでなく文化協会行政関連の予算が組踊り52万円、さらに文化まつりに3年に一遍300万円を予算化していますから計210万円ほど出ている

と私は認識しています。
議員 本村の文化事業や生涯学習講座を企画し、実施するに当たり、専任の臨時職員を設けないか。

生涯学習課長 財源と関連することですので今の臨時職員等、社会指導員も利用しながらしっかりと対応していきたいと思えます。

議員 今、本村で文化講座の教室がなく、他市町村の講座教室に通っている村民も多く聞いております。本村で高齢者が楽しめる文化講座を企画し、実施する考えはあるか、教育長。

教育長 高齢者は村の宝であると考えております。新年度はぜひ高齢者向けの講座を組み込ませていただきます。





金城 章 議員

**シルバー人材への
事業委託支援**

議員 シルバー人材センターへの今後の活動支援をどう考えているか。又中城村当局より事業等の発注はどうか。

企業・観光課長 行政事務の支援、受注活動助言や相談、活動チラシの制作、配布、公共施設の維持管理等の斡旋。各種イベントの雇用委託などを引き続き積極的に支援してまいりたいと考えております。又平成27年度の4月から11月までの公共からの発注した件数は3件であります。

議員 シルバー人材センターの平成27年の事業額が1000万円に届くと聞いております。多市町村は公共事業、公園の整備、道路整備等の委託契

約がほとんどであり、その割合が売り上げの7、8割の仕事量だと聞いておりますが、村当局も公共の仕事発注支援に取り組み考えはあるか。

村長 村発注する部分でも、もちろん問題のないのであれば、積極的に活用していきたいと思っております。できるものは全てシルバーでやっていたり、横のつながり各課で連携をとりながら、そしてそれがまた支援につながるものと思っております。

企業・観光課長 中城村がシルバー人材センターに委託しているのは今現在の営業種目の中で事業をお願いしているところでございます。例えば財団法人、公益法人になつていけば、県営公園の委託事業もできますし、村が将来に向けて施設の管理委託をする場合にも十分参加できるという体制づくりもあわせて必要ですし、その辺を指導しているところでもあります。

議員 村当局がシルバーへ

の委託業務を増やして支援していただきたいです。

**公共事業の
検査見直しを**

議員 歴史資料と所管の正面の石工事の出来栄への悪さを指摘。村当局の検査体制の見直しを強化すべきである。公共事業の検査官の育成と完了検査はきびしく取り組むべきと私は考えて、今後は各種工事の検査官にての検査体制を改めてほしい。質問意見し、新庁舎の設計がプロポーザル（公募型の事業者募集）型の設計発注もあり得る答弁がありました。

※その他、新庁舎建設、入札業者選定のあり方等の質問がありました。

おわびと訂正

9月定例議会会の一般質問の中（9ページ）で庁舎面積に数字の間違いがありましたので、訂正しておわびします。

庁舎面積

(誤) 60000㎡
(正) 68000㎡

平成 27 年 第 9 回 中城村議会定例会

平成 27 年 12 月 4 日～12 月 11 日

上程された請願、陳情、発議、意見書



中部南地区広域火葬場・斎場建設に関する請願書



教職員の職場環境の改善や生活維持・向上に関する陳情



健康で文化的な最低限度の生活を保障する立場で「生活保護基準引き下げ」「住宅扶助、冬季加算の引き下げ」中止を求める陳情書



中城村議会委員会条例の一部を改正する条例



中城村議会会議規則の一部を改正する議会規則について



中城村議会傍聴規則の一部を改正する議会規則について



(仮称)中城バイパス・(仮称)西原バイパス早期事業化及び国道329号与那原バイパスの早期完成を求める意見書

提案理由：(仮称)中城バイパス・(仮称)西原バイパスは、当該地域に点在する物流拠点及び産業拠点を結ぶとともに、周辺の環境拠点や大型商業施設を結び当該地域の周遊観光の活性化につながり、また太平洋に面して、低地となっている海岸地域における災害時のアクセス道路として機能するもので、バイパスの早期事業化を求めるため。

平成27年 第9回 中城村議会定例会

平成27年12月4日～12月11日



一般会計補正予算 (第5号)

補正額8億1,852万9千円 総額84億593万2千円とする。



土地区画整理事業特別会計補正予算 (第2号)

補正額3,000万円 総額6億2,707万6千円とする。



公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)

補正額280万6千円 総額3億6,378万9千円とする。

議案



行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例



新しい公共交通モデル事業 (中型バス購入2台)

契約額: 3,196万8千円 相手方: いすゞ自動車(株) 沖縄支社



郷土図書購入契約

契約額: 1,109万4,624円 相手方: (株)紀伊国屋書店九州営業部



税条例の一部を改正する条例



村道中城城跡線改良舗装工事 (7工区) 改定契約

改定額: 646万9,200円 総額: 9,259万5,200円 相手方: (有)北浜土木

専決処分



護佐丸歴史資料図書館新築工事 (建築工事) 改定契約

改定額: 43万7,400円 総額: 7億1,259万5,880円 相手方: (株)東江建設 (有)築良建設



護佐丸歴史資料図書館新築工事 (電気設備工事) 改定契約

改定額: 100万8,720円 総額: 1億5,242万4,720円 相手方: (有)津城電気工事 (株)東洋電機工事



護佐丸歴史資料図書館新築工事 (機械設備工事) 改定契約

改定額: 166万5,360円 総額: 1億2,164万4,720円 相手方: (株)大成設備工業 (有)涼熱空調

編集後記

今年、米軍普天間飛行場の返還合意から20年の節目を迎えるが、未だ解決しない。屋良朝苗氏の回顧録の中で、「沖縄は日米両政府によって弊履(履きつぶされる草履)のように踏み込まれる」と異民族支配下で民衆のための政府はないと語る。まさに今はそういう状況で、沖縄の民意を無視し、「普天間の危険性除去」に「辺野古が唯一の解決策」を連発する日本政府に対し、翁長知事の「魂の飢餓」発言は、琉球処分以降の構造的差別を受け続けるウチナーンチュのチムグルを端的に表現した。

中城村上空も場周経路とする米軍普天間基地を抱える、宜野湾市長選挙は「固定化阻止」と「一日も早い危険性除去」を掲げた現職が再選を果たした。前知事が辺野古新基地移設を承認した際の、普天間の5年以内の運用停止と公約の実行が求められる。(伊佐 則勝)

議会だより編集委員



- | | |
|-------|-------|
| 大城 常良 | 伊佐 貞則 |
| 仲松 正敏 | 新垣 昌雄 |
| | 石原 博則 |
| | 外間 博則 |

題字提供ありがとうございました



やまと 和 さん
井上 和 さん

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします
(ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません! あなたの字のままでいいんです

お問い合わせは中城村議会事務局 (☎098-895-4318) まで